

# 学位論文発表会

## 演題: 行政の公開情報を活用した地球温暖化対策とそれに伴う大気汚染削減効果の検証

講演内容: 本論文は、日本の地球温暖化対策について、行政の公開情報に基づいて評価を行い、これらの対策への提言を目的とした。地球温暖化対策に関する国の補助事業について、補助事業による二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 削減量が、地球温暖化対策を目的とする全事業に対してどの程度貢献しているのか、補助事業のCO<sub>2</sub>削減予想が国のCO<sub>2</sub>削減目標に対してどのような位置付けにあるのか、評価を行った。また、CO<sub>2</sub>削減単価からCO<sub>2</sub>削減量を算定し、短期・中期的なCO<sub>2</sub>削減予想と評価を行った。その結果、代表的な補助事業の費用対効果は全事業の2倍近く、補助事業の位置付けは妥当であることが分かった。さらに、地球温暖化対策が大気汚染削減にどの程度寄与するかの検討を、広島県を例にとって、解析・検討を行った。大気汚染物質として代表的な光化学オキシダントの発生シミュレーションは、窒素酸化物 (NO<sub>x</sub>) 相対排出係数と揮発性有機物 (VOC) 相対排出係数をパラメータとして実施した。その結果、光化学オキシダント低減は、広島市および福山市の両方において、前駆体であるNO<sub>x</sub>排出量低減は有効な手段とはなり得ないが、広島市ではVOC低減が有効な手段となり得ることがわかった。

**講演者:** 中谷 郁夫

**所属:** 広島大学大学院生物圏科学研究科 環境循環系制御学専攻

**日時:** 2018年7月25日(水) 午後 4時30分 ~ 5時30分

**場所:** 総合科学部 J304 号室

\* 本講演は、生物圏科学研究科の大学院セミナーの単位になります

世話人 佐久川 弘(内線6504)